



江上さんから「おもてなしの心」を学ぶ生徒

# 外国人「おもてなし」

2020年東京五輪・パラリンピックに向け、外国人をもてなす心を学ぶ教室が20日、福島市の大鳥中で開かれた。県と県教委が実施する「オリンピック・パラリンピック教育推進事業」の第1弾。生徒が握手やあいさつなど国際的なマナーを身に付けた。

## 中学生マナー学ぶ

野球・ソフトボール競技が福島市で開催され、大勢の外国人の訪問が予想されることから、生徒のコミュニケーション能力を高めようと企画された。元日本航空客室乗務員で「おもてなし学」の第一人者、江上いずみ筑波大客員教授が講師を務めた。

江上さんは生徒と直接やりとりしながらユーモアたっぷりにマナーを伝授。客室乗務員時代の体験も披露し「気付きと言葉掛けが大切。相手の立場に立って考え、プラスアルファの言葉掛けをすることがおもてなしにつながる」と話した。

同事業は本年度、福島市の小、中学校と特別支援学校の計10校で行われ、3年後の本番へ機運を高める。